

## 経済倶楽部便り

◆東京◆ 6月に入り、恒例の事業所見学会を

開催。今回は梅雨時ながら珍しく好天に恵まれ、八王子にある日本水産の東京イノベーションセンターと八王子総合工場を訪問。イノベーションセンターではブリやサーモンの養殖事業について研究所長から説明を伺いました。その中で養殖魚は天然モノに比べ、水銀汚染やアニサキスが少なくと話されました。また工場では魚肉ソーセージの製造工程を見学。最近の健康ブームもあり、テレビで取り上げられると青魚の油に多く含まれるEPA入りソーセージや竹輪などは製造が追いつかないほど急増したとのこと。

4月入会者（未掲載分）をご紹介します。村上憲司・京都総合経済研究所東京経済調査部長、山田達也・日本投資環境研究所社長、岸下義弘・同常務の方々です。

8月は夏休みで講演会は休会となります。

◆中部◆ 6月の講師としてBNPパリバ証券チーフエコノミストの河野龍太郎氏をお呼びしてここからの内外経済の見通しについてお話しして頂きました。講演のなかで「今地銀向けの融資が伸びているが、実物投資ではなくかなり不動産投資に向かっている。次の不況が来た場合、これが不良債権化して地銀の救済問題に発展する可能性が大きい」などと話されました。

8月は夏休みで講演会は休会となります。

（日暮良一）